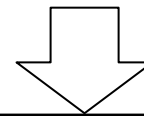


河川

地形	勾配が緩く、川幅が広い
	堤防ののり面勾配が緩い
出水	出水の立ち上がりが遅い
	洪水流
降雨	河川の中から確認出来る
情報	無線や携帯の電波が届く
周辺	周辺に人家が多い

溪流

地形	勾配が急で、川幅が狭い
	両岸の傾斜が急
出水	出水の立ち上がりが早い
	土石流・フラッシュフラッド(土砂流・流水)
降雨	溪流の中からは分かりにくい
情報	無線や携帯の電波が届きにくい
周辺	周辺に人家が少ない



溪流内における局地的豪雨時の人的災害の特徴

- ・降雨中や直後に急な増水や土砂流出による被害が発生する恐れが高い
- ・危険な状況を認識しにくく、情報も届きにくい
- ・日常性を離れた環境(非日常性)で発生しやすい

河川とは異なる対策の検討が必要

溪流における局地的豪雨に対する警戒避難対策の論点

溪流での、釣り、水遊び等における自らの安全確保をどのように考えるのか？

非日常性の環境における安全確保はどう考えるのか？

溪流の利用者や住民が、自らの安全を守るための情報収集のあり方はどう考えるのか？

溪流における安全確保のための情報提供はどう考えるのか？

人の利用を前提とした砂防設備等および周辺溪流の安全確保はどのように考えるのか？

人の利用を前提とした砂防設備等および周辺溪流の安全確保のあり方はどう考えるのか？

利用者へ、局地的豪雨発生時に、急な増水や土砂流出等の発生を迅速に検知し伝達する、センサーや情報伝達装置等のあり方はどう考えるのか？

利用者へ、土砂流出の可能性が高いことや、避難路等を明示した看板等の注意喚起はどう考えるのか？

利用者が、土砂流出発生時に、迅速かつ安全に避難するための施設整備はどう考えるのか？

上記の観点を踏まえ、今後の溪流における局地的豪雨に対する警戒避難対策のあり方は、どうあるべきか？